

第2回 横浜市緑区地域ケアプラザ指定管理者選定委員会 議事録

日 時	令和7年3月25日（火） 午前9時00分から午後1時15分まで
開 催 場 所	緑区役所4階4A・4B会議室
出 席 者	<p>【選定委員会委員】</p> <p>委員長 村井 祐一 （田園調布学園大学教授）</p> <p>委員 太田 さおり（緑区地域子育て支援拠点「いっぽ」職員）</p> <p>原田 ますみ（緑区保健活動推進委員会会長）</p> <p>藤田 慶之 （税理士）</p> <p>正木 きよ子（緑区民生委員児童委員協議会副会長）</p> <p>三宅 智之 （みどり地域活動ホーム あおぞら 施設長）</p> <p>臨時委員 崎詰 素之 （東本郷地域ケアプラザ運営協議会会長）</p> <p>臼井 孝一 （中山地域ケアプラザ運営協議会会長）</p> <p>松浦 正義 （十日市場地域ケアプラザ運営協議会会長）</p> <p>井上 敏正 （長津田地域ケアプラザ運営協議会会長）</p> <p>【事務局】</p> <p>緑区福祉保健センター長 宮嶋 真理子</p> <p>緑区福祉保健センター担当部長 安達 恒介</p> <p>緑区福祉保健課長 森下 太幹</p> <p>緑区福祉保健課事業企画担当係長 橋本 恵美子</p> <p>緑区福祉保健課事業企画担当 河原 龍也、上村 香仲美</p>
欠 席 者	なし
開 催 形 態	一部非公開（「議題5 面接審査（応募団体の面接審査）」、「6 審議（指定管理者の候補者（以下、「指定候補者」という。）及び次点候補者の選定、講評）」については、非公開）（傍聴者0人）
議 題	<p>1 応募状況・審査方法について</p> <p>2 最低制限基準について</p> <p>3 本市重要政策への対応状況による評価及び事業実績評価について</p> <p>4 財務評価について</p> <p>5 面接審査</p> <p>6 審議</p>
決 定 事 項	<p>指定管理者の候補者として、次のとおり、横浜市緑区長に報告することとする。</p> <p>1 横浜市中山地域ケアプラザの指定候補者及び次点候補者</p> <p>指定候補者：社会福祉法人横浜市福祉サービス協会</p> <p>次点候補者：なし</p> <p>2 横浜市東本郷地域ケアプラザの指定候補者及び次点候補者</p>

	<p>指定候補者：社会福祉法人横浜 YMCA 福祉会 次点候補者：なし</p> <p>3 横浜市十日市場地域ケアプラザの指定候補者及び次点候補者 指定候補者：社会福祉法人神奈川県匡済会 次点候補者：なし</p> <p>4 横浜市長津田地域ケアプラザの指定候補者及び次点候補者 指定候補者：社会福祉法人横浜市社会福祉協議会 次点候補者：なし</p>
議 事	<p><u>0 開会</u> 委員長から、定数確認及び第1回委員会で決定した会議の公開・非公開について確認を行った。</p> <p><u>1 応募状況・審査方法について</u> (事務局) 公募の結果、各施設1団体から応募書類の提出があった旨を報告するとともに、次の2点について確認した。 ○応募団体の資格要件等について ・資格要件を満たすこと、欠格事項に該当しないことを報告。 ・欠格事項のうち、「暴力団又は暴力団経営支配人等ではないこと」に関して、神奈川県警に照会した結果、該当しないとの回答を受けた旨や市税納付状況等の確認を行った結果、資格要件を満たしている旨を報告。 ○審査方法について ・面接審査のプレゼンテーション・質疑応答の所要時間、審査方法及び集計方法について流れの確認</p> <p><u>2 最低制限基準について</u> (事務局) 第1回委員会で決定した最低制限基準点について確認 ・一定の委員数（6人以上）が確保される場合 最高点及び最低点をつけた委員を除く残りの委員の「評価項目1～6の総合計点の60%」 ・5人以下の場合 すべての委員の「評価項目1～6の総合計点の60%」</p> <p><u>3 本市重要政策への対応状況による評価及び事業実績評価について</u> (事務局) 第1回委員会で確認した本市重要政策の対応状況による評価及び事業実績評価について確認</p>

4 財務評価について

(事務局)

財務評価について、第1回委員会で決定した評価方法について確認

・財務状況の評価は、選定委員のうち財務に関する有識者は、健康福祉局による外部評価の結果を参考にして評価を行い、その評価結果及びその評価を付けた理由を選定委員会で共有し、財務に関する有識者以外の選定委員は、その評価結果及びその評価を付けた理由を参考にして、各自評価を実施する。

5 応募団体の面接審査

(1) 面接審査

ア 横浜市中山地域ケアプラザ

(ア) プレゼンテーション

団体から、団体の概要、事業計画等について説明

(イ) 主な質疑応答

(委員) 普段から自治会とも密に連携を取っていただいている。地区内に3つの小学校があり、1つの小学校に福祉教育で説明を行ってもらったが、残りの小学校についてもぜひ啓発をお願いしたい。

(委員) 移動販売を実施しているとのことだが、地域の負担が大きいのではないか。

(団体) 取組実施前に自治会長、民生委員とも相談して決定した。多少の負担感はあるが、地域のために実施してくださっている。可能な限り、生活支援コーディネーターも同席するようにしている。

(委員) 移動販売はどのくらいの頻度で実施しているのか。

(団体) 月に1回。実施の要望が多い場所では2週間に1回実施している。

(委員) プレゼンテーションの中でLINEでの情報発信をしているとあったが、高齢者でもLINE等活用できているのか。

(団体) スマホ講座を開催する等工夫はしているが、紙媒体での御案内も多い。

(委員) 自身が中山エリアで子育てをしていた。お祭りや地域ケアプラザの事業に参加したこともあり、楽しかったと記憶している。一方でどうしても高齢者に対しての活動が多いように感じている。今後、子育て世代と高齢者がつながれるような展望はあるか。

(団体) ボランティア同士で顔を合わせる場を設定し、お互いにどんなことをやっているか知ってもらう機会を作りたいと考えている。その機会を通じて、交流につなげていきたい。

(委員) 障害がある方について、地域ケアプラザとして様々な事業を行っていただいていると評価している。コロナ禍において、色々な活動が縮小されていったなかで、これからの活動における展望は

	<p>あるか。</p> <p>(団体) 地域の方が施設に行き、障害がある方と交流を持つことが重要だと考えている。一緒に事業に参加してもらうことにより、更なる関係性の発展に寄与していきたい。</p> <p>(委員) 移動販売における弱点・課題はどのように捉えているか。</p> <p>(団体) 移動販売の実施個所が増えると、特定の企業のみだと時間内の巡回が難しくなってくる。新たな協力企業を発掘するとともに、様々な企業との密な連携が課題になってくる。</p> <p>(委員) SNS を活用した情報発信については高く評価できる。一方で運用上の課題など何かあるか。</p> <p>(団体) 定期的な更新をすることへの負担が挙げられる。紙媒体での情報発信も多いので、SNS を活用してもらう工夫が必要だと考えている。</p> <p>(委員) プレゼンテーションにおいて、在宅みどりネットワークの話ができたが、この事業は主催なのか。それとも参加しているのか。</p> <p>(団体) 医師会・行政等の主催で、地域ケアプラザとして参加している。歴史も長く、参加することで人材育成を担っている。</p> <p>(委員) 地域ケア会議の実施状況について教えてほしい。</p> <p>(団体) 個別ケース地域ケア会議を2回、包括ケース地域ケア会議を1回実施。個別課題を把握し、身寄りのない人、免許返納に関する話を設定した。消防等も会議に入ってもらった。市レベル地域ケアにつなげていければと考えている。</p> <p>(ウ) 財務状況評価、前期実績報告書の説明 藤田委員より財務分析結果報告書について説明。 事務局より前期実績報告書について説明。</p> <p>イ 横浜市東本郷地域ケアプラザ</p> <p>(ア) プレゼンテーション 団体から、団体の概要、事業計画等について説明</p> <p>(イ) 主な質疑応答</p> <p>(委員) 子ども子育て支援として「ちょいボラ」とのことだが、どんなことをしているのか。</p> <p>(団体) コロナ禍前は色々と地域でボランティアを実施していたが、コロナ禍で中止になってしまった。そのなかで、学校内で出来る活動を行うことになり、千羽鶴の作成や、思いやりをテーマに子どもたちに作文を書いてもらい、地域の方にコメントを入れてもらった。なかなか中学生と交流する機会がないので、一緒に取り組んでいることを感じる事が出来たのではないかと。</p>
--	---

	<p>(委員) 地区の高齢化率も高いかと思うが、高齢者の虐待について、どのように考えているのか意見を聞きたい。</p> <p>(団体) 虐待に関して地域の方が近所などで様子がおかしいと把握するとすぐに連絡が入るようになっている。地域包括支援センターの職員がすぐに訪問し、確認している。区役所とも連携をとりながら、支援策を検討している。一般の区民から連絡があることも多い。</p> <p>(委員) 法人の理念について、職員にはどの程度理解してもらっているのか。</p> <p>(団体) 法人理念については、きちんと入社前に話し、理解してもらった上で入社してもらっている。</p> <p>(委員) 地域ケアプラザの立地や法人で他の地域ケアプラザを運営しているかについて、教えてほしい。</p> <p>(団体) 地域の方々の要望があり、ミニバスが開通している。ミニバスの終点が地域ケアプラザになっており、バスを利用される方が多い。また法人では3つの地域ケアプラザを運営している。あとはグループホームや小規模多機能型居宅介護を実施している。</p> <p>(委員) 障害分野において、地区内に特別支援学校もあるかと思うが、どのような連携を行っているのか。</p> <p>(団体) 連絡を密に取っている。地域ケアプラザの紹介や特別支援学校の作品を地域ケアプラザに展示している。コロナ禍前は掃除ボランティアなども実施していた。再開に向けて引き続き検討していく。</p> <p>(委員) 地域の中で住み替えが進み、新しい世代が転入してきており、つながりの形も変わってきている。地域の中でも色々な取組を行っていると思うが、世代交代に対して地域ケアプラザとしてどのように考えているか。</p> <p>(団体) 転入する方たちの中には、地域のことが分からず、地域ケアプラザに連絡してくれる方もいる。そういった方には、区内の施設や地域について紹介を行っている。一方、出戻りで東本郷地区に馴染みがある方も多いように見受けられる。</p> <p>(委員) 朝ごはんの会で地域ケアプラザとして連携している取組はあるか。また地域ケアプラザとして把握している課題を教えてほしい。</p> <p>(団体) 食材調達や利用団体に食器の寄附をお願いしている。また農園をやっている地域の方に野菜提供のお願いをしている。課題については、当初はなかなか人が集まらなかったが、今では50人くらいの参加者がいる。自治会館を会場としているが、人数的にも少し手狭になっているので、地域ケアプラザとしても何か手伝えることがないか検討している段階。</p> <p>(委員) 移動販売について地区内の実施状況を教えてほしい。</p>
--	---

	<p>(団体) 地区で3つの場所で開催しており、もう1つ別に開催に向けて検討中。対象自治会の会長とコミュニケーションを取りながら、実施できるように進めている。頻度は週1回、木曜日に3か所回っている。</p> <p>(委員) 移動販売を実施するなかで見守り等も行っているのか。また地域ケアプラザとして何か支援していることはあるか。</p> <p>(団体) 見守りも実施している。また団地で実施すると上層階まで運ぶことが大変なので、持ち運びの支援を行うこともある。またSNS(X:エックス)でボランティア募集の呼びかけを行っている。</p> <p>(委員) 反応はどれくらいあるのか。また情報発信のツールとしてLINE等使用しているか。</p> <p>(団体) 当日の朝募集をかけるということもあり、正直反応は良くない。LINEについても高齢者が使いこなせていないこともあり、現在は利用していないが、今後検討していきたい。</p> <p>(委員) 地域ケア会議の実績を教えてください。</p> <p>(団体) 今年度は特殊詐欺があったことに伴い、1回実施した。こういった事例があるという啓発も必要なので、広めていきたい。</p> <p>(委員) 今年1回実施とのことだが、もう少し実施しても良いのではと思った。</p> <p>(ウ) 財務状況評価、前期実績報告書の説明 藤田委員より財務分析結果報告書について説明。 事務局より前期実績報告書について説明。</p> <p>ウ 横浜市十日市場地域ケアプラザ</p> <p>(ア) プレゼンテーション 団体から、団体の概要、事業計画等について説明</p> <p>(イ) 主な質疑応答</p> <p>(委員) 十日市場ヒルタウン地区の高齢者の割合はどの程度なのか。</p> <p>(団体) 4割程度と把握している。独居世帯や高齢者の二人暮らしが多い。地域ケアプラザは駅に近いが、遠方の方は来所しづらいため、地域のサロン等に出向くなど、こちらから何うことが必要だと考えている。</p> <p>(委員) 子育て支援として、こども村の取組など地域ケアプラザだけではなく、広く色々なところに出向いて事業を実施いただいている。一方で多世代カフェなども実施しているが、高齢者の居場所としての印象が強いと感じている。子育て世代にも来てもらえると嬉しい。</p> <p>(団体) 子育て世代にも来てもらえると良いと思っている。その中で交流・つながりができると良い。ケアマネジャー等も入ってもらえると</p>
--	--

	<p>色々な展望がある。午後の開催のため、お昼寝の時間帯なので、そういった課題もある。ボランティアは積極的に活動してくれているので、引き続き一緒に検討していきたい。</p> <p>(委員) 情報発信において、ホームページと紙媒体を併用していると思うが、SNS での反応はどのような反応があるか。</p> <p>(団体) 子育て世代はネットでの申込が圧倒的に多い。自主事業はLINE で発信し、ネットと電話での申込の両方が選択できるようにはしている。</p> <p>(委員) 平均勤続年数が長いとあるが、一般的な社会福祉法人はどのくらいが平均なのか。またその要因として福利厚生への配慮とあったが、具体的にどのような配慮があるか教えてほしい。</p> <p>(団体) おおよそ5～6年となっている。福利厚生への配慮としては、資格取得支援や住宅手当等一般的な福利厚生から、社会福祉法人で働くうえで必要な研修などが挙げられる。</p> <p>(委員) 要望・苦情について、第三者委員会を立ち上げているとあるが、メンバー構成は。また実際に苦情や要望はあるのか。</p> <p>(団体) 十日市場ヒルタウン地区及び新治西部地区の民生委員両会長の2名。要望はいただくことはあるが、苦情はあまりない状況。</p> <p>(委員) コロナ禍を経て、今後障害分野で取り組みたいことはあるか。</p> <p>(団体) 障害分野については、弱い部分があるので、みどり地域活動ホームあおぞらなど施設と協力しながら、一緒に発信していきたい。誰でも来てもらえるような居場所として模索していきたい。</p> <p>(委員) 緑区内で移動販売が期待されているが、十日市場エリアでの実施状況について教えてほしい。</p> <p>(団体) 地区で4～5か所で実施している。移動販売のニーズも高く、新しい場所についても現在打ち合わせを行っている段階。週に1回各所を回っている。</p> <p>(委員) アウトリーチを大事にしているとあったが、具体的な取組について教えてほしい。</p> <p>(団体) 地域ケアプラザの紹介の際にはこちらから訪問しますと案内している。また先ほどこども村の取組をお話したが、こちらでも地域の集会所で実施している。</p> <p>(委員) 地域ケア会議の実施状況について教えてほしい。</p> <p>(団体) 今年度は職員の人員体制もあり、実施できていない。通常は年に2～3回実施している。コロナ禍でフレイル予防について検討し、体を動かすためのマップを作成した。今後、見守りや孤立への対策が必要と感じており、来年度以降の検討課題として考えていきたい。</p> <p>(ウ) 財務状況評価、前期実績報告書の説明 藤田委員より財務分析結果報告書について説明。</p>
--	---

事務局より前期実績報告書について説明。

エ 横浜市長津田地域ケアプラザ

(ア) プレゼンテーション

団体から、団体の概要、事業計画等について説明

(イ) 主な質疑応答

(委員) 前に高齢者対象の事業を見させていただく機会があり、参加者も楽しそうに参加していて、多くの方が集まっていた。高齢者支援については充実しているようだが、子育て世代は地域ケアプラザの場所が分からない、駅を挟んで反対側の住民は地域ケアプラザと地区センターの場所を混合している方もいる。今度子育て世代・多世代で取り組める事業展望があれば教えてほしい。

(団体) 現状、出前講座までつながっていないが、御意見は頂いている。公園遊びを企画した時は参加者も多く、好評だった。地区センターの館長とも共催していきたくと話を進めている。誰でも来やすいことをアピールしていきたい。

(委員) 連合自治会未加入の自治会も多いので、幅広い取組を期待したい。

(委員) プレゼンテーションにもあったが、お互いに手を差し伸べ合う地域づくりに地域ケアプラザとしても協力いただいていると評価している。地域ケアプラザが位置する駅北口には行きにくい地域もあるが、ここ数年積極的に地域に出てくれて活動してくれている。地域側も単位自治会単位で発信をしていかないといけないと思っている。自治会総会の後に地域ケアプラザの紹介をしてもらっているが、自治会としても発信を続けていきたい。

(委員) 移動販売について実施状況・地域ケアプラザとしてどう関わっているか教えてほしい。

(団体) 地区で週1回、5か所で実施している。地域によっては多くの人が参加し、地域ケアプラザに情報提供があり相談につながったケースもあった。取組を始める際には、自治会と協議のうえ、実施した。地域ケアプラザとしても定期的に顔を出すようにして、企業と連携し健康講座等も実施している。

(委員) 地域ケア会議の実施状況について教えてほしい。

(団体) 包括レベルで1回、個別ケースで1回実施している。認知症の方について地域での見守りをどうするか検討した。事業者との意見交換会も実施し、隣同士での見守りが必要だと感じている。長津田地区は4新聞社と協定を締結するなど見守りにも力が入っている。

(委員) 市内地域ケアプラザについて、指定管理を行っている施設数はどれくらいか。

- (団体) 市内で 17 館指定管理を行っている。
- (委員) SNS の運用について教えてほしい。
- (団体) 昨年度までブログを実施していたが、現在運用について検討中。
- (委員) LINE などプッシュ型の方法等も検討いただきたい。

(ウ) 財務状況評価、前期実績報告書の説明

藤田委員より財務分析結果報告書について説明。

事務局より前期実績報告書について説明。

6 審議（指定候補者及び次点候補者の選定、講評）

応募者から提出された応募書類及び面接審査等をもとに評価を行い、各委員の評価結果を集計する。

(1) 横浜市中山地域ケアプラザ

	応募団体	評価得点／満点	最低制限基準得点／基準点
指定候補者	社会福祉法人 横浜市福祉サービス協会	1,133／1,650 点	1,083／915 点
次点候補者	なし	－	－

(審査講評)

- ・普段から良く利用させてもらっている。相談や見守りについても直ぐ対応してもらっている印象。現指定期間中についても、色々な事業や取組を頑張ってくれている。
- ・プレゼンテーションや事業計画書について、非常に分かりやすい説明・記載だった。
- ・子育て分野や障害分野について、しっかりと目を向けてくれている。長く運営しているからこそその横のつながりを大切にしてくれていると感じた。多世代の方が住んでいる地区のため、今後更なる多世代交流を意識した事業展開を期待する。
- ・SNS をうまく活用しており、頻繁に情報発信いただいている。引き続き取り組みを継続してほしい。

(2) 横浜市東本郷地域ケアプラザ

	応募団体	評価得点／満点	最低制限基準得点／基準点
指定候補者	社会福祉法人横浜 YMCA 福社会	1,081／1,600 点	1,016／885 点
次点候補者	なし	－	－

(審査講評)

- ・地区が地域主体で色々なことを行ってくれている。その中で、近隣の学校

や地域、幅広い世代を上手く巻き込んで活動を展開してくれている点が評価できる。

- ・プレゼンテーション・事業計画書において、具体的な取組・項目が多かった。時代に合わせた SNS の活用など前向きだなと感じた。
- ・地区の端に位置しているが、移動販売や自主事業についてしっかりと取り組んでいただいている法人であると評価している。
- ・地区内で数少ない公共施設であるため、求められる役割は非常に大きい。今年、地区内の小学校で改修工事があり、小学校が利用できない部分もあるため、ますます多くの方に求められる。自治会活動にも協力いただいているので、引き続き一緒に進めていきたい。
- ・地域福祉保健計画を大事にしてくれていると感じた。しっかりと住民のニーズを把握してくれている。

(3) 横浜市十日市場地域ケアプラザ

	応募団体	評価得点／満点	最低制限基準得点／基準点
指定候補者	社会福祉法人 神奈川県匡済会	1,042／1,650 点	1,022／915 点
次点候補者	なし	－	－

(審査講評)

- ・自治会活動でも大変お世話になっている。自治会ももっと地域ケアプラザを住民に知ってもらい、気軽に行ける場所であることをアピールしていかなければいけない。引き続き一緒に取り組んでいきたい。
- ・プレゼンテーションや事業計画書については、シンプルだったが、日頃から、経験年数の長い職員中心に地域とも良く連携し、様々な取組を行っていると感じている。普段やっている事業を、プレゼンテーションや事業計画書でよりアピールできると良かった。
- ・“連携”を重視していると感じた。連携は非常に重要なキーワード。目的・目標を明確にして、コミュニケーションを取っていくことが必要になるので、引き続き“連携”を丁寧に展開していくことを期待している。
- ・アウトリーチを積極的に実施してくれているので、引き続き期待したい。

(4) 横浜市長津田地域ケアプラザ

	応募団体	評価得点／満点	最低制限基準得点／基準点
指定候補者	社会福祉法人 横浜市社会福祉協議会	1,075／1,600 点	1,035／885 点
次点候補者	なし	－	－

	<p>(審査講評)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・障害分野において、ボッチャ事業等熱心に取り組んでいただいている印象。施設の距離が離れていても、積極的にネットワークづくりに取り組んでいる点について評価できる。 ・行政や地域と連携がしっかりと取れている印象。職員の方も良くやっていただいている。地区の範囲が広い中で、夏の暑い時期でも訪問対応など積極的に行ってきている。 ・地域福祉保健計画において、3つの部会があるが、何かあると地域ケアプラザがきめ細かく、すぐに対応してくれている。これからも引き続き続けてほしい。地域からもっと知ってもらえる施設になってほしい。移動販売などの取組も増えると良いと思うが、広い範囲をカバーするのは職員の方も大変だと思うので、行政のバックアップも併せて期待したい。 ・地域とのコミュニティやネットワークを意識して運営していると評価できる。高齢者や障害の分野では非常に多くの取組を実施してくれているので、引き続き継続してもらおうとともに、更なる子育て世代への支援も期待している。一方で SNS の活用についてはぜひ前向きに検討してほしい。 <p>各応募団体の得点は、最低制限基準を満たしているため、選定委員会として社会福祉法人 横浜市福祉サービス協会他を指定候補者として選定することを決定する。</p>
<p>資 料 ・ 特 記 事 項</p>	<p>1 資料</p> <ol style="list-style-type: none"> (1) 横浜市緑区地域ケアプラザ指定管理者選定委員会員名簿 (2) 横浜市緑区地域ケアプラザ指定管理者選定委員会運営要綱 (3) 横浜市緑区地域ケアプラザの指定管理者の候補者の選定等に関する要綱 (4) 令和6年度第1回選定委員会議事録 (5) 令和6年度第2回委員会タイムスケジュール (6) 最低基準点の設定について (7) 前期の指定管理業務の実績報告書 (8) 事業実績評価・第三者評価結果 (9) 財務分析結果報告書 <p>2 特記事項</p> <p>特になし</p>